

文化から静岡の未来をつくる。静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える」という基本理念に基づき、歴史探求と地域学習という本来、博物館が持つ役割に加え、施設への集客、周辺のにぎわい創出、回遊促進という観光交流の一端も担う施設として運営されている。

三 静岡県焼津市

「地域部活動について」

文部科学省は令和5年度以

降、公立中学校等における休日の部活動の地域移行を段階的に実施していくスケジュールを示している。

焼津市は、令和3年度に地域部活動の在り方検討委員会を立ち上げるなど地域移行に向けた準備を先進的に進め、令和4年度から柔道、剣道、相撲、ニユースポーツ、海洋活動の5種目について「焼津市地域部活動」として活動を開始した。今年度は新たに7種目を加えた全12種目のクラブ活動を行っている。

建設産業常任委員会

5月16日～18日（所管事項調査）

一 大阪府藤井寺市 「古墳を活用した観光振興等について」

藤井寺市は、堺市、羽曳野市とともに、「百舌鳥・古市古墳群」として令和元年に世界遺産として登録された古墳群を有している。

古墳時代の様子を再現CGで制作し、スマートフォンなどを通して楽しむことができるアプリ「藤井寺古墳探検」の作成や、地元小学生向けに古墳についての学習ノートを

独自で作成する等、様々な観光振興、地域振興の取組を実施している。



藤井寺市生涯学習センターにて

二 大阪府羽曳野市

「古墳を活用した観光振興等について」

羽曳野市は、藤井寺市同様「百舌鳥・古市古墳群」を有しており、（知る・見る・食べるをテーマにした）その周知イベント「古墳deるるる」をサポートを中心に開催している。

また、令和4年に一般財団法人大阪はびきの観光局を設立し、駅前のビクターセンター等で情報発信を行っている。

三 兵庫県尼崎市

「歴史・文化を活用した新たな視点の観光振興の展開について」

尼崎市は産業のまちとして発展し、一般的な観光とは無縁のまちであったが、地元の家電量販店創設者の寄付による尼崎城の再建を契機に新たな観光振興に取り組んでいる。一般社団法人あまがさき観光局を中心に、身近でありながら多数の特色ある飲食店をピックアップしPRする「#尼崎食堂」の例のように、SNSを活用した若い世代への情報発信も強化している。

総務常任委員会



民生文教常任委員会



建設産業常任委員会

